

進学要覧の完成にあたって、データ提供に協力いただいた卒業生、そして作成に携わった進路指導部の先生方に心より感謝申し上げます。本校生の進学実績を統計的に表したこの資料は、在校生にとっての貴重な未来予想図です。希望する大学学部に合格するためには、本校において、どれ位の成績順位であればよいのかが見えてきます。

ともすれば外部模試の成績データだけに依存しがちな進路指導ですが、本校では、授業中心主義を貫き、日々の授業を大切にしていることから、その到達度を測るための定期考査や実力テストを重視しています。本校の進学指導にとって、校内成績は極めて貴重なデータとなっています。これこそが、本校が長きにわたって築き上げてきた受験のノウハウであり、まさに本校が全国有数の進学校たる所以はそこにあります。

人は生きていく中で、人生選択の節目を何度か迎えます。大学受験は、皆さんの人生を決定する大きな節目と言えるでしょう。皆さんが社会で自分を活かしたいと願うならば、その目標をしっかりと見定め、この土浦一高でどのように過ごせばよいのかをよく考える必要があります。目標実現に必要な学力がこの進学要覧から分かります。数値と結果だけが表示された資料ですが、このデータの裏には、嬉しい思いや悔しい思いが込められています。それは、先輩たちが夢や目標に向かって努力した軌跡ともいえるものです。

大学合格はゴールではなく、それぞれが歩む道のスタートラインに立つということです。この資料は先輩達がどのような進路を選択し、どれだけの成績を得て合格し、進学したかを知る資料ではありますが、それで目標が達成したわけではありません。

皆さんは、この進学要覧を単なる興味本位で見るのではなく、皆さん自身の生き方を見定め、その先を行く先輩たちの軌跡としてとらえ、皆さんのこれからの学校生活に生かしてほしいと思います。

大学受験をはじめ、世の中には、いろいろな壁があります。事を成し遂げるには、いくつもの壁を乗り越えていかなければなりません。しかし、この壁の中で最も大きな壁は、自分の心に潜む「弱気な心」といえます。目の前に立ちふさがる大きな壁というのは、ほとんどが自分で作っているものなのです。よく、「もう限界だ」といって先に進むことをあきらめてしまう人がいますが、この「限界」というのは、そこにあるものではなく、自分が勝手に作っているだけなのです。

多くの人が、「私はこんなもんだ。これぐらいしかできない。これで十分だ。」と先へ進むことをあきらめ、周りからも、「お前はそんなもんだ。世の中はそんなに甘くない。」と言われ、そこに限界を見いだして、その中で生きる術を見つけようとしています。

しかし、物事を成し遂げられる人とは、自分自身の中に「あきらめない強い心」と熱い情熱を抱いている人なのです。それは、まさに、そのことに気付くことのできたあなた自身です。

最大の敵は、外にはいません。自分の心に潜む「弱気な心」に打ち勝つことこそ、大学合格をはじめ目標達成の要といえるでしょう。